

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 オーク製作所							
代表者名	氏名	橋本 典夫			役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	東京都 町田市 小山ヶ丘 3-9-6							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	2941 電球製造業						
主たる事業の概要	半導体生産用の紫外線放電ランプの製造							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	2025	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO <sub>2</sub>	自動車の台数	4	台

### 2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

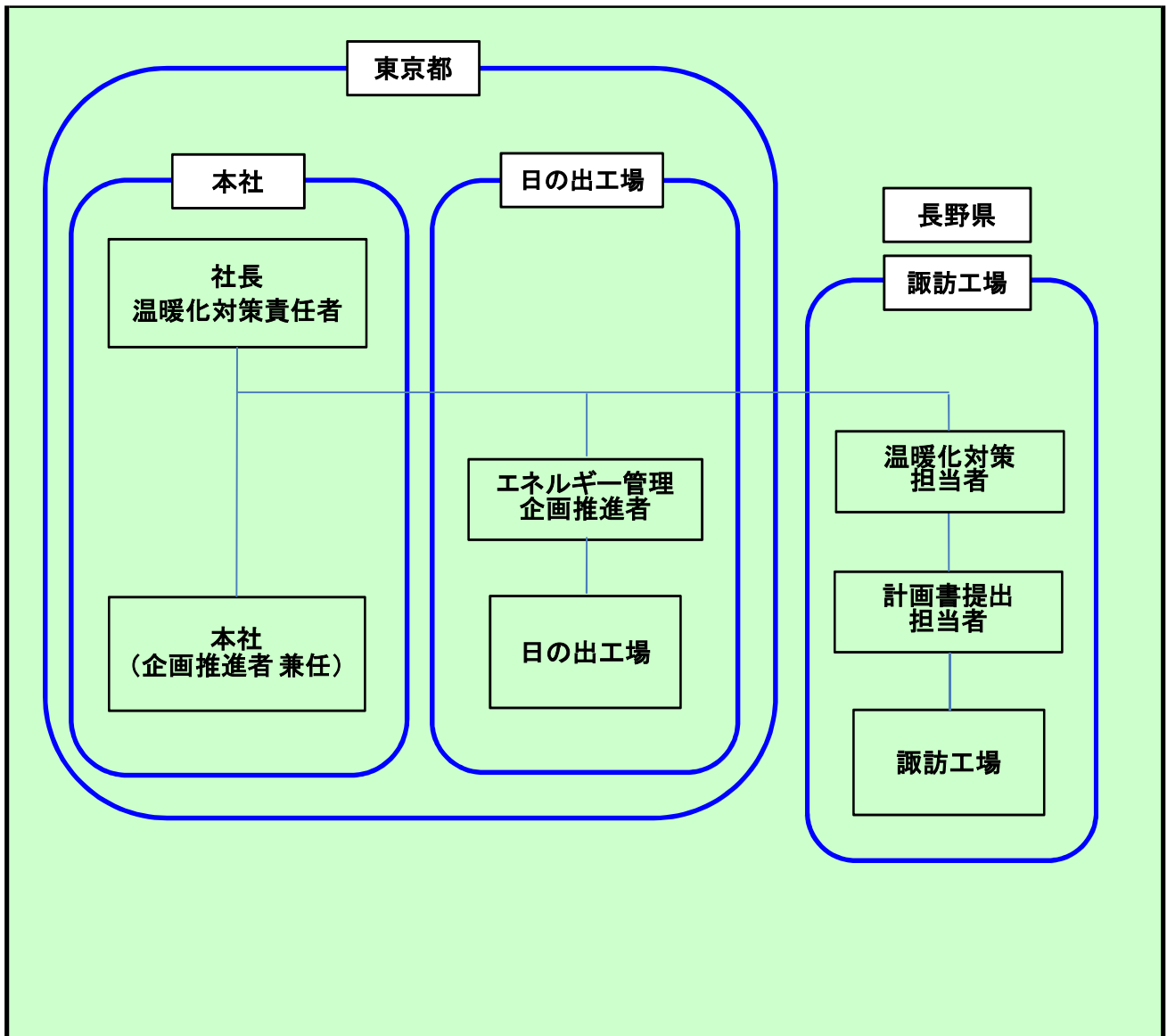
### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	場所 : 工場受付 時間 : 平日 9:00～17:00 担当部署 : 諏訪総務 連絡先 : 0266-73-1611
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

ISO-14001の「環境方針」に沿った、目標設定、維持、管理

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	3,934	t-CO <sub>2</sub>	生産量	179	単位	MW	
25年度	調整後排出量	2,953	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	21.98	t-CO <sub>2</sub> /	MW	
目標年度	目標排出量	3,800	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	21.20	t-CO <sub>2</sub> /	MW	寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
28年度	目標削減率	3.40	%	目標削減率	3.54	%		
目標設定に関する説明	生産歩留まりの改善、クレーム等の発生削減による生産効率の改善。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	4,036	t-CO <sub>2</sub>	生産量	205.80	単位	MW	
	調整後排出量	4,008	t-CO <sub>2</sub>	原単位	19.61	t-CO <sub>2</sub> /	MW	寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
26年度	削減率	(2.60)	%	削減率	10.78	%		
排出量等の増減理由	生産量の上昇により、排出CO <sub>2</sub> 量自体は上昇したが、生産歩留まりの向上、1日当たりの生産効率UPにより、原単位では削減した。							
第二年度	排出量	3,991	t-CO <sub>2</sub>	生産量	225.30	単位	MW	
	調整後排出量	3,970	t-CO <sub>2</sub>	原単位	17.71	t-CO <sub>2</sub> /	MW	寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
27年度	削減率	(1.45)	%	削減率	19.42	%		
排出量等の増減理由	CO <sub>2</sub> 排出量は、休日、夜間の設備停止などの実施により、対前年比で約1%削減できた。原単位では、エネルギーの消費量が下がった以上に、生産量の増加による、効率の改善ができた。							
第三年度	排出量	4,245	t-CO <sub>2</sub>	生産量	238.30	単位	MW	
	調整後排出量	4,215	t-CO <sub>2</sub>	原単位	17.81	t-CO <sub>2</sub> /	MW	寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
28年度	削減率	(7.91)	%	削減率	18.97	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	CO <sub>2</sub> 排出量は、基準年度より増える結果となった。これは、生産数量が増加したためであり、原単位での削減は大幅に達成できている。ただし、原単位で見ても前年度より削減できていない状況になっている。							

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	23	t-CO <sub>2</sub>			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	21	t-CO <sub>2</sub>	削減率	8.69	%
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	21	t-CO <sub>2</sub>	削減率	8.69	%
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	16	t-CO <sub>2</sub>	削減率	30.43	%
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	330201 冷房時の運転管理	27	2	27	1
2	エネ起	350651 変圧器の負荷の統合	27	2	-	-
3	エネ起	360751 台数制御の導入	28	20	-	-
4	エネ起	380751 HFタイプの蛍光灯に更新	26-28	5	28	2
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO <sub>2</sub>					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO <sub>2</sub>					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO <sub>2</sub>					
県が認証したクレジット	tCO <sub>2</sub>					
電気の利用に伴うもの	tCO <sub>2</sub>	981		28	21	30
低炭素電力の利用	tCO <sub>2</sub>					

様式1号  
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,934	1	4,036	1	3,991	1	4,245
1,500k1未満								
合計	1	3,934	1	4,036	1	3,991	1	4,245

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	0	0	0	0
N <sub>2</sub> O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF <sub>6</sub>	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合計	0	0	0	0
自動車総数	4	4	4	4
次世代車導入割合				

様式1号  
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	特になし

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	<b>マイカー通勤率 85%</b> 一定距離以下の自動車通勤は禁止。
公共交通機関の利用促進	一人での出張は、公共機関の利用を推進。 また、特急回数券を購入、支給している。
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	特になし

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO-14001	1998年
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	製品の効率改善等の研究、開発 不要品を分別し一部回収してもらい、廃棄物の排出量を削減
第一年度実績	同上
第二年度実績	同上
第三年度実績	廃棄物の削減、リサイクルなど

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO <sub>2</sub> )
基準年度以前の取組み	特になし	
その他	業務用車両については、排出量が小さいため、運用管理の把握のみとする。	